

施策	5401 文化芸術活動の推進							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	文化会館における指定管理者制度の導入、文化施設等の修繕・充実、文化祭等の文化活動の推進等を図る。							
成果指標	文化会館入場者数...2022年度で360,000人(現状値351,512人) 文化祭参加者数...2022年度で24,300人(現状値24,100人) 美術館等入館者数...2022年度で30,000人(現状値13,664人)							
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標1 [人]	予定	353,200.00	354,900.00	356,600.00	358,300.00	360,000.00	
		実績	368,813.00	317,000.00	11,871.00			
	成果指標2 [人]	予定	24,140.00	24,180.00	24,220.00	24,260.00	24,300.00	
		実績	19,840.00	15,518.00	1,379.00			
		単位コスト	16.79	111.09	1,009.12			
	成果指標3 [人]	予定	13,000.00	13,000.00	6,500.00	0.00	30,000.00	
		実績	18,224.00	12,215.00	3,261.00			
		単位コスト	18.28	141.13	426.73			
	成果指標4 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
トータルコスト (千円)	予定	705,637	1,723,929	1,391,578	0	0		
	実績	333,194	1,723,929	1,391,578	0	0		
内部評価	貢献度	上位施策の成果指標の目標値を達成するためには、市民のライフスタイルやニーズに即した魅力ある事業展開が必要であるため、本単位施策の事務事業の貢献度は高い。						
	達成状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、文化会館や美術館の催事の多くが縮小・中止となったため、文化会館等年間入場者数や文化祭参加者数に大きく影響した。						
	課題	市内各地域で活発に文化活動が行われているが、団体間や地域間の交流や相互理解が十分とは言えない上に、若年層の加盟・参加が少ない状況となっている。						
	取組方針	市民が、気軽に文化芸術活動に参加・体験できる環境づくりと共に、文化団体間・世代間の交流を促進していく。						
外部評価								
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名称				トータルコスト(千円)	達成度	
	737101	(仮称)文化芸術館等整備事業費				2,546,174	100	
	792701	(仮称)文学館開館準備事業費				12,304	100	
	572301	旧とちぎ蔵の街美術館管理費				18,581	95	
	570101	ふるさと文化振興基金積立金				6,616	90	
	713401	歌麿の愛したまちとちぎ事業費				6,026	90	
	570301	文化課一般経常事務費				3,131	85	
	794201	(仮称)文化芸術館開館準備事業費				8,256	60	
	570401	文化補助金				5,935	54	
	572101	美術館特別企画展等開催事業費				15,847	50	
571001	文化振興推進事業費				7,688	49		

単位施策評価表 補表

施策	5401 文化芸術活動の推進		
区分	妥当性	妥当	文化の振興を図るため、市民や文化団体等の文化芸術活動を支援することは妥当である。
	コスト削減の余地	有	施設統廃合等によりコスト削減を図る余地がある。
	受益者負担	適正	利用者に対しては、妥当な受益者負担を求めており、適正である。
	上位貢献度	有効	文化会館や美術館等の自主事業や企画展等は、上位計画に対し、大いに貢献している。
	類似事業の有無	無	他に類似する事業はない。
	成果向上の余地	有	文化会館や美術館の事業の内容や、文化団体等への活動支援方法について検討の余地がある。
内部評価	貢献度	上位施策の総合計画に掲げる「文化芸術活動等の参加者の満足度」の目標値を達成するためには、文化会館や美術館等の自主事業、企画展を魅力あるものにすることが必要であり、本単位施策内の事務事業の貢献度は高いと判断した。	
	達成状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、文化会館や美術館の催事の多くが縮小・中止となったため、文化会館等年間入場者数や文化祭参加者数に大きく影響した。 コロナ禍ではあるが、新しい生活様式や各種ガイドラインに準じ、文化会館や美術館の自主事業や企画展において魅力あるイベントを開催したほか、文化祭を開催することが出来た。	
	課題	各地域の文化団体等が、活発に文化芸術活動を行っているが、その活動の大半は、団体内や地域内にとどまっている。市全域の文化振興を図るためには、団体間、地域間の交流が必要と考えているが、現時点では、十分とは言えない状況である。また、若年層の加盟・参加が少ない状況となっている。	
	取組方針	各地域で行われている文化芸術活動の相互交流や情報交換等により、団体間や地域間の交流が活性化するよう、各地域の文化協会等を総括する栃木市文化活動協議会に働きかけを行う。	